

FM/AMチューナー

KT-3050

取扱説明書

お買いあげいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

はじめに

ケンウッド商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため本説明書をよくお読みになり、末永くご愛用くださるようお願いいたします。また、お読みになったあとも、大切に保存してください。

■目次

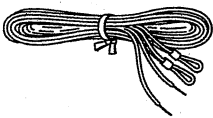
ご注意: △ のついた項目は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用前に必ずお読みください。

△取扱上のご注意.....3	放送受信のしかた.....8
接続のしかた.....4	オート選局できく.....8
AMループアンテナの接続.....4	マニュアル選局できく.....9
AM屋外アンテナの接続.....4	放送を受信し、プリセットする.....10
FM屋外アンテナの接続.....5	プリセットした放送局を受信する.....10
同軸ケーブルの接続.....5	文字を表示する.....11
FM簡易アンテナの接続.....5	FM放送受信時の便利な機能.....12
各部の名称.....6	故障と思われる症状ですが.....13
リモコンの使いかた.....7	アフターサービスについて.....14
	定格.....15

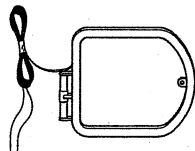
■付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

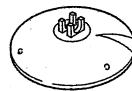
FM用室内アンテナ
(1本)



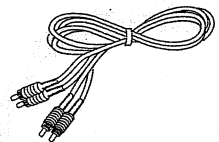
AMループアンテナ
(1本)



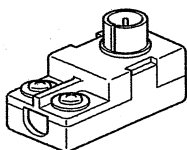
ループアンテナスタンド
(1個)



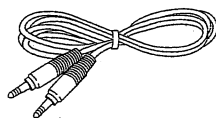
オーディオコード
(1本)



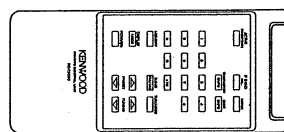
アンテナアダプター
(75 Ω / 300 Ω) (1個)



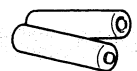
システムコントロールコード
(1本)



リモートコントロールユニット
(1個)



リモコン用単3
乾電池(2個)

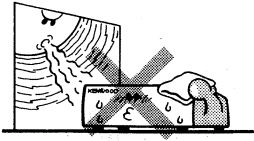


取扱上のご注意

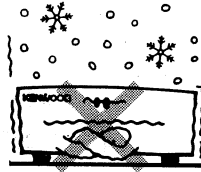
⚠ この頁は安全確保のために必ずお読みください

■設置上のご注意

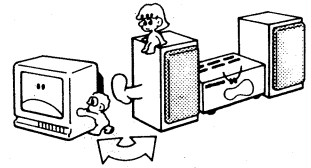
直射日光の当たる所、暖房器具など発熱物の近くは避けてください。



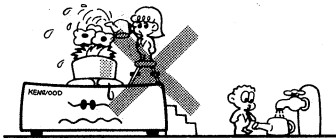
極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。



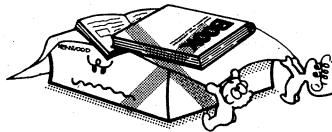
雑音が入る場合は、テレビからできるだけ離してご使用ください。



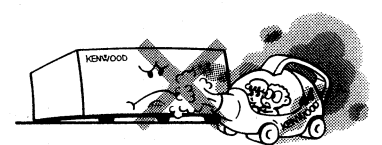
花びん、化粧品など液体の入ったものは、上に置かないでください。また、湿気の多いところは避けてください。



放熱をよくするため、本など、ものをセツトの上に置かないでください。また、壁から10cmくらい離して置いてください。



不安定な棚などは避け、ホコリ、震動の少ない水平な場所に設置してください。また、放熱孔をふさぐジュース、ソファ、ベッド等の上では使用しないでください。

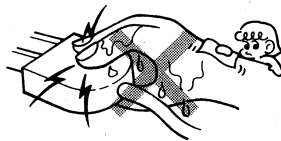


■安全上のご注意

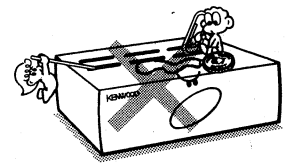
本機は、交流100V専用です。200Vでは絶対に使用しないでください。



電源プラグの抜き差しは、ぬれた手で行なわないでください。感電するおそれがあります。



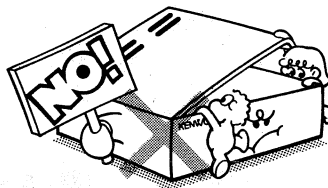
ケースの空気孔等にヘアピン、縫い針などの金属物が入ると故障や感電の原因になります。とくにお子様へのご注意をお願いします。



電源コードを強くひっぱったり、無理に折り曲げたり、継ぎ足したりすることは、通電しなくなったり、ショートのおそれがありますのでやめましょう。抜くときは、プラグを持ってください。

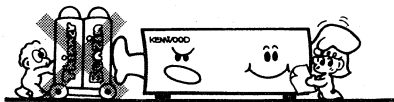


ケースなどをはずし、内部に触れることは避けてください。内部に手を触れると感電、故障の原因となることがあります。



■セットのお手入れ

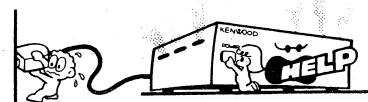
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、やわらかい布でかぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。



■異常にお気づきのさいは

万一、煙が出ている、また変なおいがするなどの異常がおきたときは、電源スイッチをすばやくOFFにして電源コードを抜いてください。そのうえで速やかに購入店または最寄りのケンウッドサービスセンター、営業所へご連絡ください。

POWER OFF

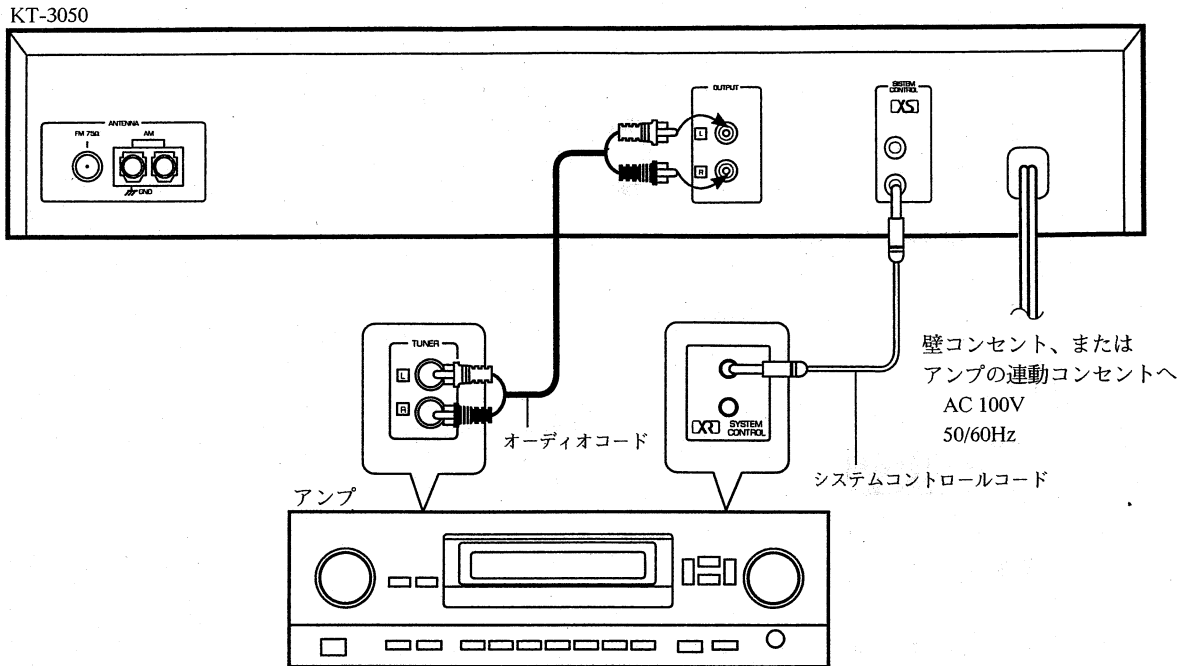


接続のしかた

下図のように接続してください。

関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。



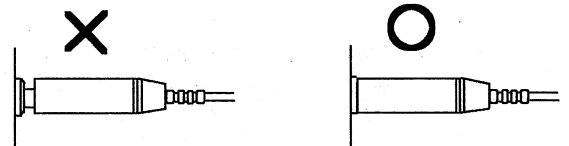
システムコントロール接続について

KENWOODのシステムコントロール端子の付属したアンプに接続することにより、リモートコントロールでのシステム操作(放送バンド切り換え、プリセットチューニングなど)ができます。くわしくはアンプの取扱説明書をお読みください。

アンプにシステムコントロール端子がない場合は、どのシステムコントロール端子にも、なにも接続しないでください。

当社指定以外の機器との接続は、故障の原因となりますのでおやめください。

- システムコントロールプラグは、根もとまで差し込んでください。
- システムコントロールコードとオーディオコードが正しく接続されていないと、リモートコントロールおよびシステム機器相互間の自動システムが作動しませんのでご注意ください。

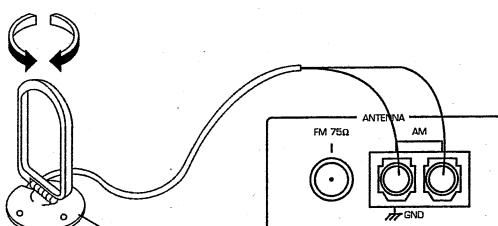


ご注意：

1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

AM ループアンテナの接続

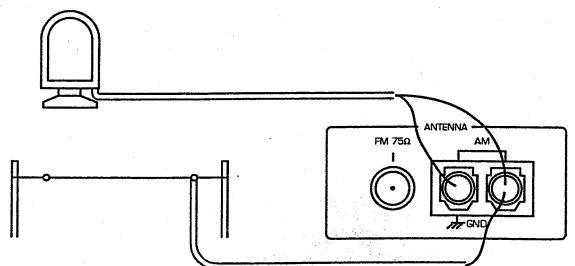
付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。



ループアンテナスタンド

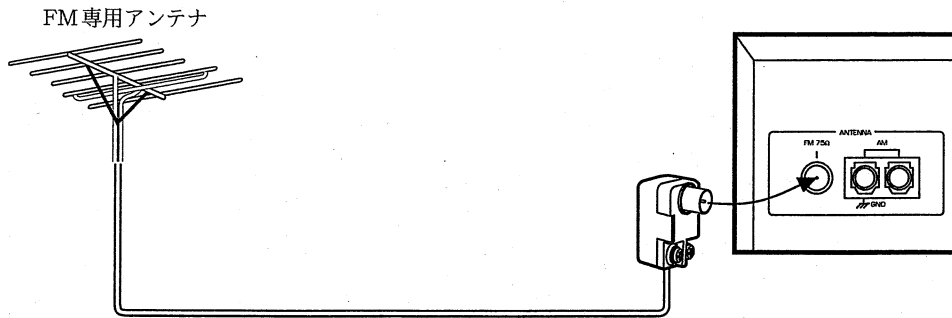
AM 屋外アンテナの接続

受信状態が悪い場合は、ループアンテナをつないだまま6m以上のビニール被覆線を屋外に張ってください。



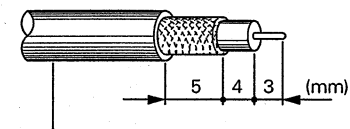
■ FM 屋外アンテナの接続

75 Ω 同軸ケーブルを使って屋内へ引き込み、「FM 75 Ω」端子に接続します。



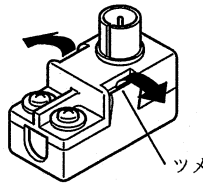
■ 同軸ケーブルの接続

①同軸ケーブルを図のように加工する。

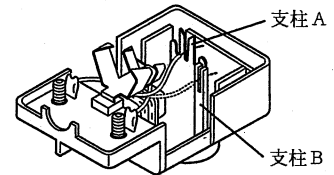


5C-2V (RG-6) または 3C-2V (RG-59)

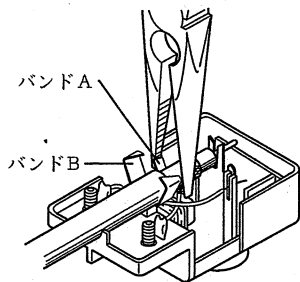
②アンテナアダプターのカバーを開ける。
指でツメを開いてロックをはずし、
カバーを引っぱります。



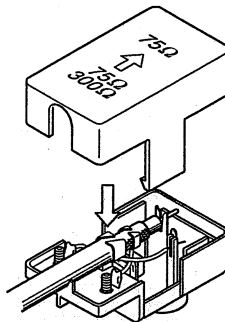
③芯線を支柱Aから外し、支柱Bに差し込む。



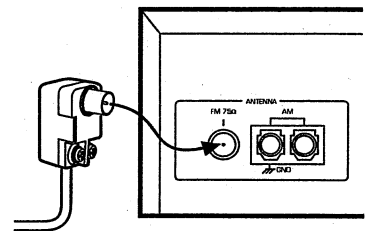
④同軸ケーブルをクリップに挟み、バンドA、
Bをプライヤーを使って締める。



⑤カバーを閉める。



⑥アンテナ端子に接続する。

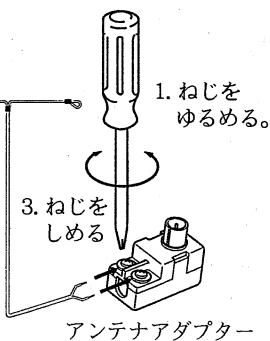


■ FM 簡易アンテナの接続

①

付属FM
室内アンテナ

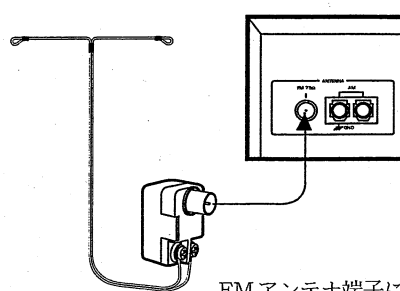
2. フィーダー線を
差し込む。



②

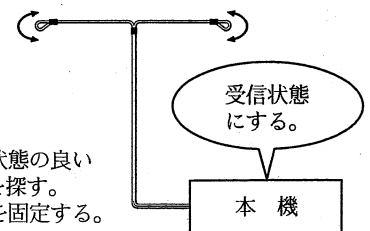
本機背面

FM アンテナ端子に
しっかりと差し込む。

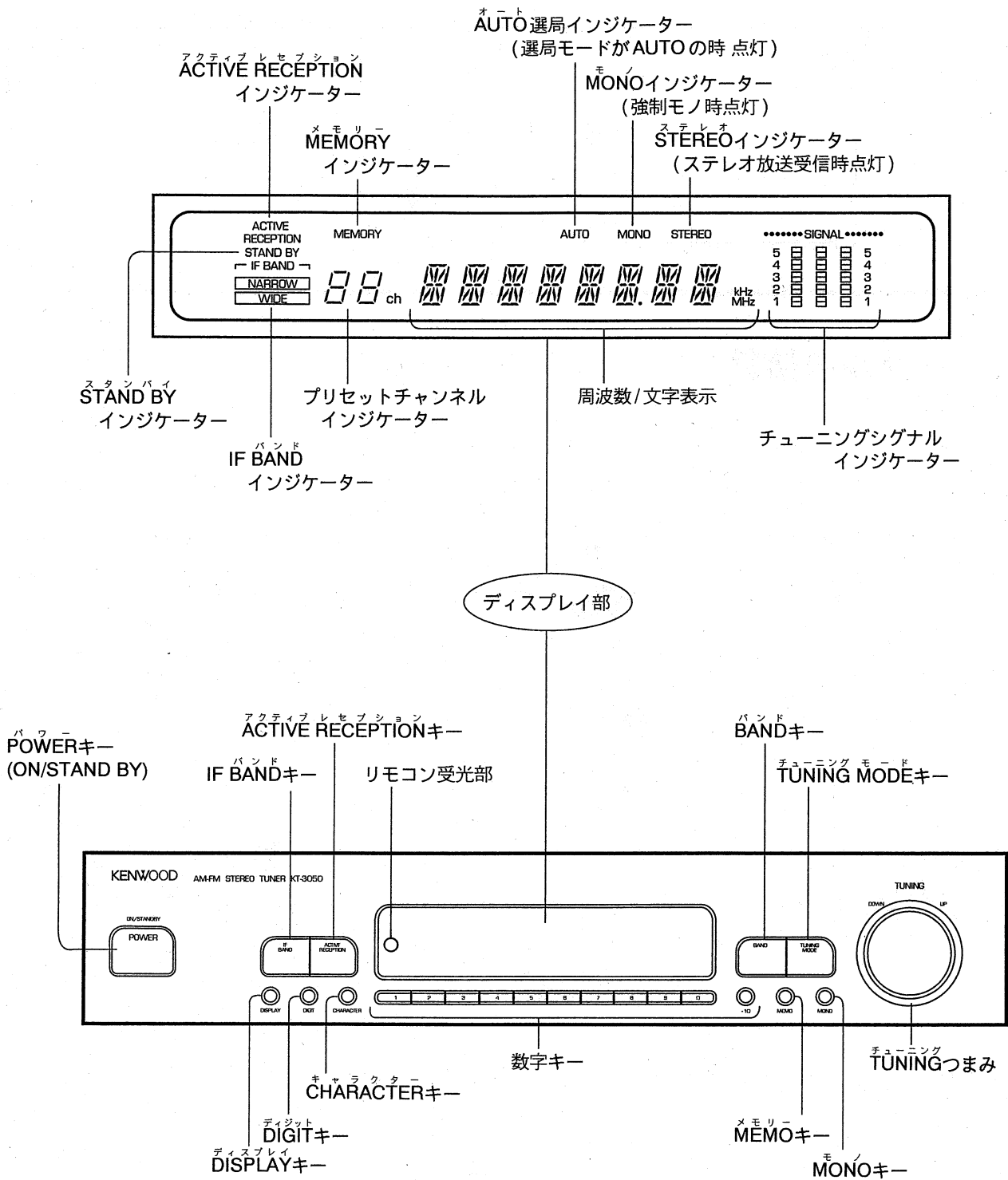


③

1. 受信状態の良い
方向を探す。
2. 両端を固定する。



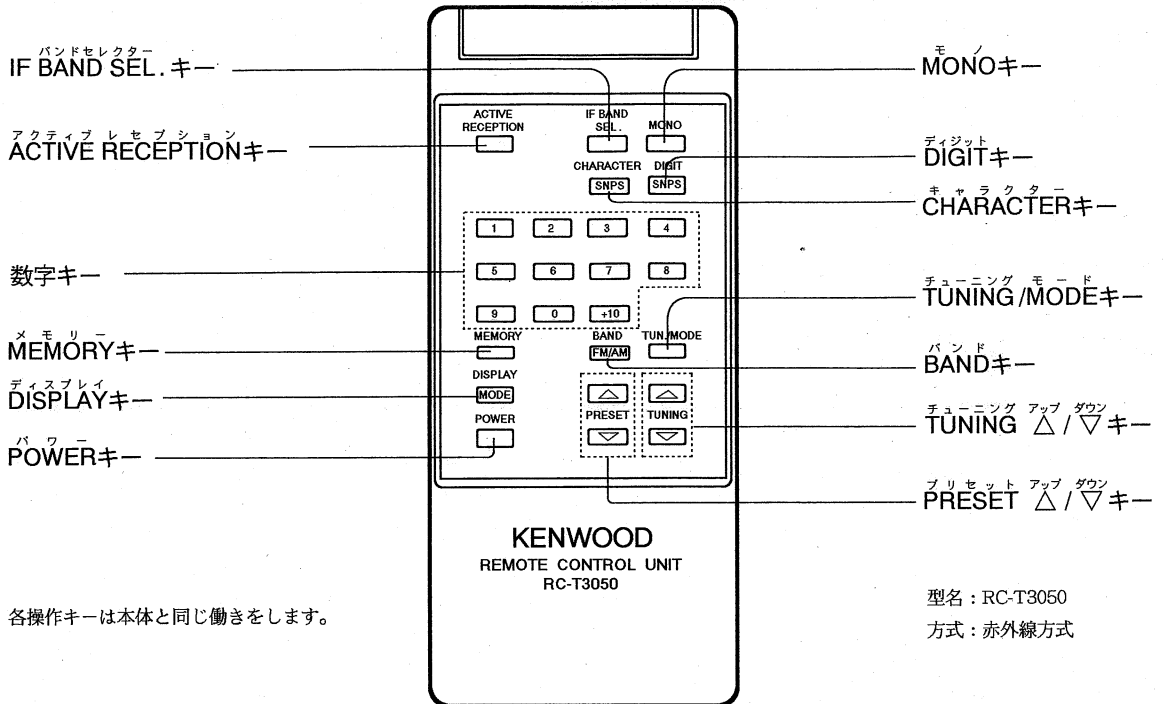
各部の名称



POWER キーの STAND BY について

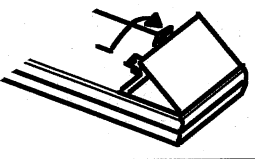
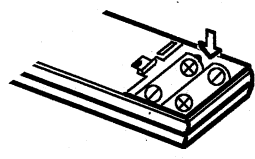
本機では電源プラグをコンセントに接続すると、電源 ON/OFF に関係なくスタンバイインジケータが点灯します。これは電源 OFF 時にも、メモリーの保護のため、微弱な通電を行っているためです。これをスタンバイ状態といいます。スタンバイインジケータが点灯しているとき、リモコン操作によっても電源の ON/OFF ができます。

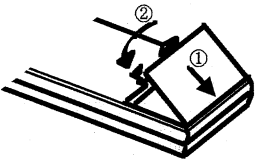
リモコンの使いかた



各操作キーは本体と同じ働きをします。

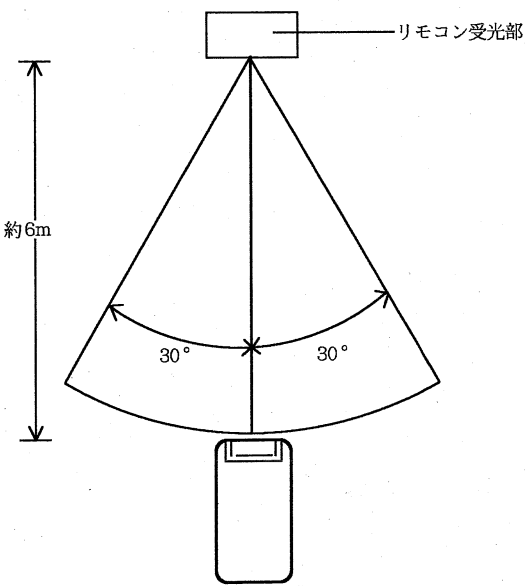
■電池の入れかた

- 1 ふたを開ける
 
- 2 電池を入れる
 

単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。
- 3 ふたを閉める
 

■操作のしかた

操作範囲



リモコン受光部

約6m

30°

30°

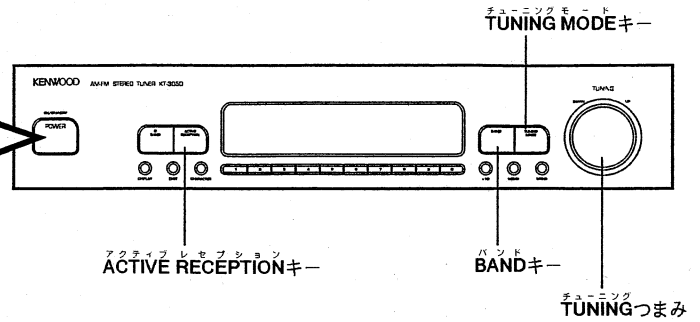
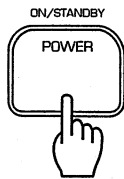
●リモコンの各操作キーを押してから次の操作キーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押ししてください。

ご注意:

1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

放送受信のしかた

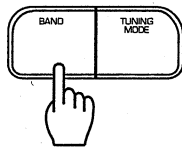
電源をONにする



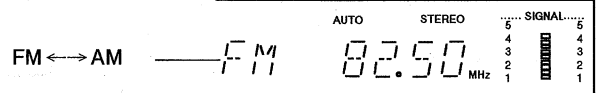
■オート選局できく

1 アンプの入力切換を TUNER にする

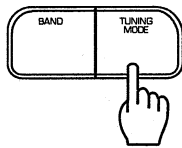
2 放送バンドを選ぶ



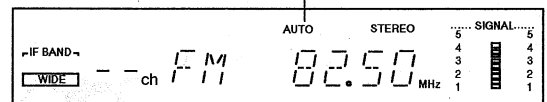
BAND キーを押すごとに放送バンドが切り換わります。



3 オート AUTO 選局モードにする



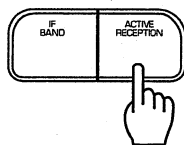
点灯確認



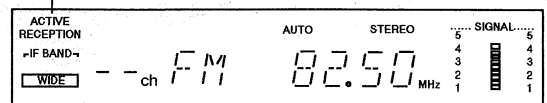
キーを押すごとにオート選局 (AUTO 点灯) またはマニュアル選局 (AUTO 消灯) になります。

4 ACTIVE RECEPTION を ON にする

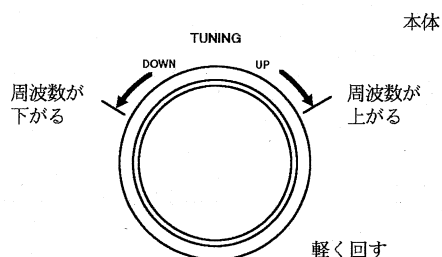
FM 放送を最適な状態で受信します。(12 ページ参照)



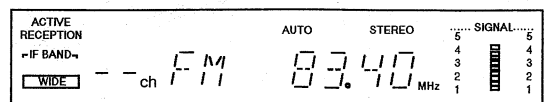
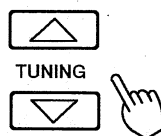
点灯



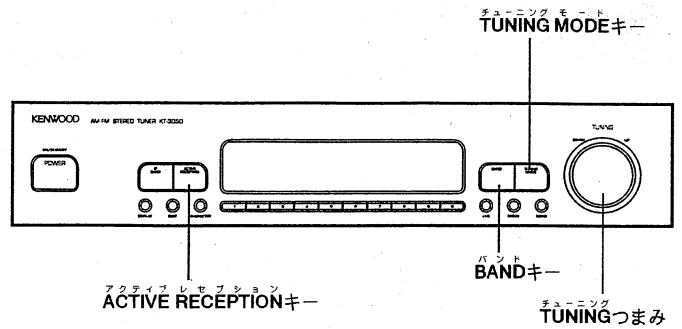
5 希望する放送局を受信する



リモコン



- 周波数の高い局を選ぶときは、TUNINGつまみを軽く右に回します。
- 周波数の低い局を選ぶときは、TUNINGつまみを軽く左に回します。
- 周波数を自動的に走査して、放送局を受信すると停止します。

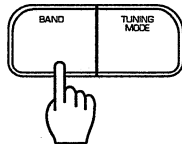


■マニュアル選局できく

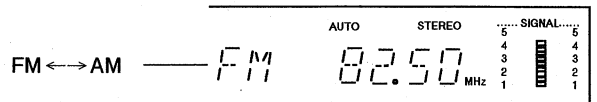
オート選局できない電波の弱い局を受信するときは、マニュアル選局をしてください。

1 アンプの入力切換を TUNER にする

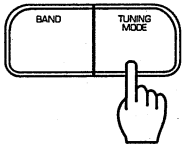
2 放送バンドを選ぶ



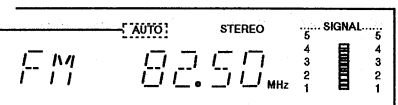
BAND キーを押すごとに放送バンドが切り換わります。



3 マニュアル選局モードにする



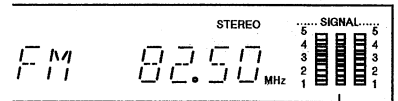
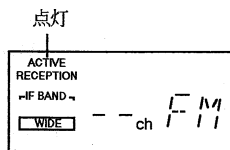
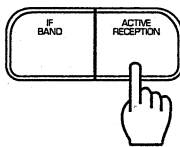
消灯確認



キーを押すごとにオート選局 (AUTO 点灯) またはマニュアル選局 (AUTO 消灯) になります。

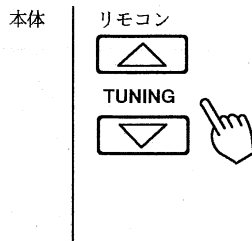
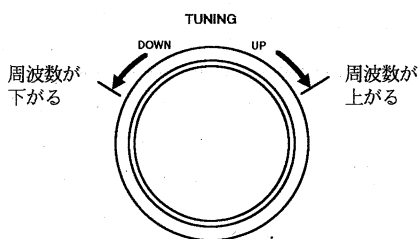
4 ACTIVE RECEPTION を ON にする

FM 放送を最適な状態で受信します。(12 ページ参照)



チューニングシグナルインジケータ

5 希望する放送局を受信する



チューニングシグナルインジケータについて

TUNINGつまみを回して放送を受信するとき、同調点に近くに従って左右どちらかが赤色で点灯。さらに放送局に同調すると、中央の白のインジケータがシグナルの強さによって点灯します。離調するときは、逆の推移をたどっていきます。AM放送受信時は、放送局に同調すると、中央の白のインジケータのみがシグナルの強さに従って点灯します。

ご注意:

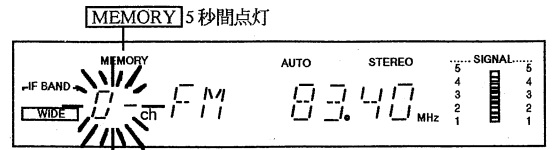
電波が弱いときは、左側と右側のステップが4ポイント以下の表示になったり、左右非対称に表示されることがあります。

● TUNINGつまみを止まる位置まで回すと、周波数が連続的に変わります。

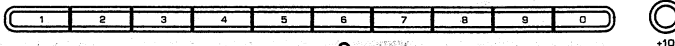
■放送を受信し、プリセットする(記憶させる)

1 放送局を受信する (8~9ページ参照)

2 MEMO キーを押す



3 記憶させる

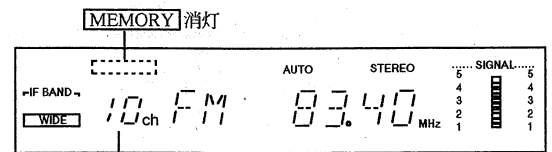


入力例

10ch に記憶させたいとき ... **+10**, **0**

39ch に記憶させたいとき ... **+10**, **+10**, **+10**, **9**

MEMORY点灯中に押す



選ばれた番号が表示される

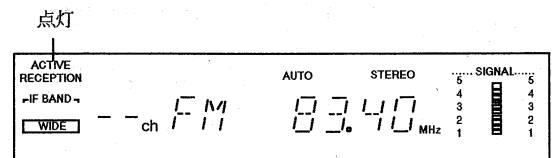
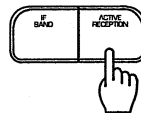
- プリセットを続けるときは、手順1~3を繰り返します。
- 放送バンドに関係なくランダム(無作為)に39局までプリセットできます。
- すでにプリセットした数字キーを押すと、新しい放送局に変わります。

■プリセットした放送局を受信する

1 ACTIVE RECEPTION を ON にする

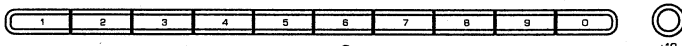
FM 放送を最適な状態で受信します。

(12ページ参照)



2 希望する放送局を選ぶ

数字キーで選ぶ

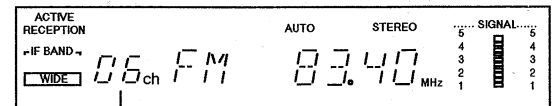


入力例

6ch を受信したいとき ... **6**

23ch を受信したいとき ... **+10**, **+10**, **3**

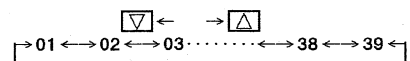
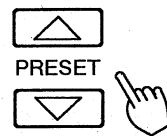
本体



選ばれた番号が表示される

順番に選ぶ

リモコン



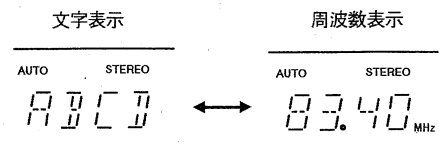
DISPLAY キーについて

文字が入力されているときは、文字表示が優先されます。

DISPLAY キーを押すごとに、文字表示と周波数表示に切り換わります。

周波数表示は、約5秒後に文字表示に戻ります。

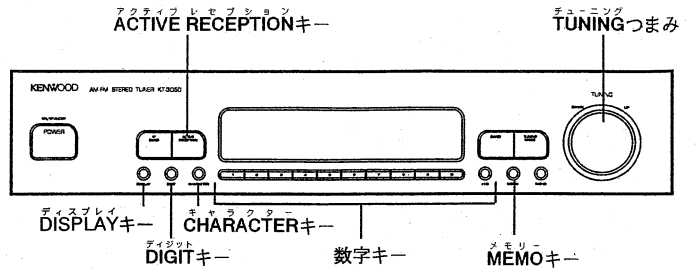
文字が入力されていないときは、DISPLAY キーは働きません。



■文字を表示する

S.N.P.S.(Station Name Preset System)

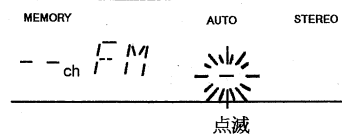
文字や記号などを最大4文字まで表示できます。
プリセットした放送局名などを表示するときに便利です。
最大39局まで記憶できます。



1 放送局を受信する (8~10 ページ参照)

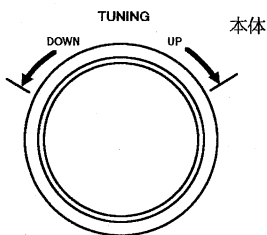
2 文字入力モードにする

CHARACTER キーを押す

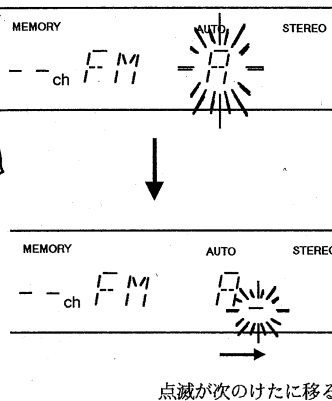
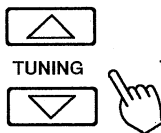


3 表示したい文字を入力する

①表示する文字を出す

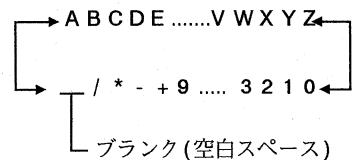


リモコン



入力できる文字の種類

CHARACTER キーを押したあと
TUNINGつまみを回すか、TUNING
キーを押すごとに、文字が表示でき
ます。



②確定する

DIGIT キーを押す

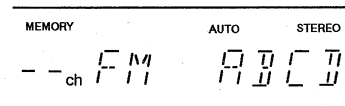


③手順①, ②を繰り返し、必要な文字を入力する

- 消したい文字の部分には、スペースを選んで入力します。

4 文字入力を終了する

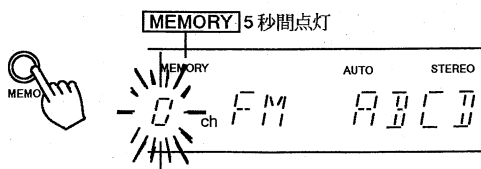
3文字以内で終了するときは、確定後、CHARACTER キーを押します。



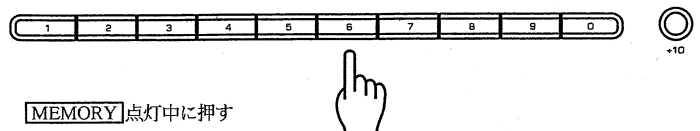
- 4文字入力したときは、自動的に終了しますので、この操作は不要です。

5 記憶させる

①MEMO キーを押す



②数字キーを押す



- 間違えたときや、変更したいときは、初めからやり直します。

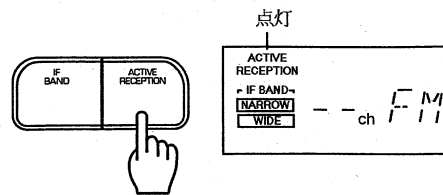
FM 放送受信時の便利な機能

各操作キーは、押すごとに切り換わります。(これらのキーは、FM 放送受信時のみ機能します。)

アクティブレセプション ACTIVE RECEPTIONキー

ACTIVE RECEPTION キーを押すと、インジケーターが点灯します。この状態で
チューニング アップ ダウン
TUNING UP/DOWN、またはプリセット呼び出しなど受信周波数を変えると、
バンド オートステレオ モノラル
IF BAND、AUTO STEREO/MONOが自動的に切り換わり、電波状況にあった最適な
受信状態が得られます。

通常 ACTIVE RECEPTION は ON にしておきます。

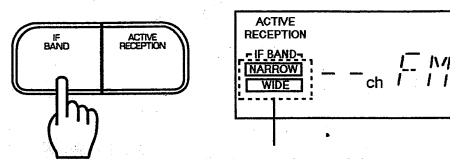


バンド IF BANDキー

中間周波数の信号の通過帯域を、ワイド(広帯域)、ナロー(狭帯域)に
切り換えることができます。

WIDE: 通常は WIDE にしておきます。ひずみの少ない良質の音で受信で
きます。

NARROW: WIDE で受信時、隣接局の妨害で放送がききとりにくいとき、
NARROW にします。



どちらか一方のみ点灯

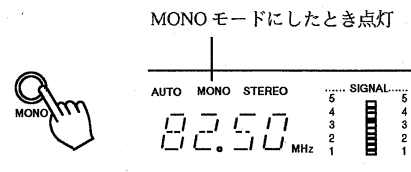
モノ MONOキー

オフ (MONO 消灯):

通常は Off にしておきます。放送内容(ステレオ放送、モノラル放送)に合
わせて自動的に切り換わります。(モノラル放送のとき、MONO インジケーター
は点灯しません。)

オン (MONO 点灯):

ステレオ放送受信時、電波が弱く雑音が多いときは、On にします。
放送は強制的にモノラル受信になり、雑音が少なくなります。



MONO モードにしたとき点灯

ラストチャンネルメモリー

電源を ON にしたとき、または放送バンド(AM, FM)を
切り換えたとき、最後にきいていた放送局を受信します。

メモリーバックアップ

一度プリセットした記憶内容は、電源コードを抜いても
約3日間は残っています。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所
への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心が
け次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな
音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りま
しょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法
です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

故障と思われる症状ですが.....

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

症 状	原 因	処 置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンプと接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオコードでアンプと接続する。
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナを接続していない。 ● 放送バンドが合っていない。 ● 受信したい放送局の周波数に合っていない。 ● アンテナに入ってくる電波が弱い 	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナを接続する。 ● 放送バンドを合わせる。 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 ● 遠距離にあるところではFM専用外部アンテナ(5~8素子)を建てる
数字キーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 呼び出したチャンネルに放送局をプリセットしていない。 ● 長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 放送局をプリセットする。 ● もう一度プリセットする。
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車のイグニッションノイズ。 ● 電気器具の影響によるもの。 ● テレビが近くにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
IF BANDがNARROWのときに音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> ● 放送局の音声レベルが高いため。 	<ul style="list-style-type: none"> ● IF BANDをWIDEにする。

ご注意:

1. 本システムはマイコンを使用していますので、外部からの雑音や、妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。そのような場合、電源コードを一度抜いてからあらためてご使用ください。
2. 接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

アフターサービスについて

1. 保証書—この商品の保証書は別途添付しております。
必ず所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
2. 保証期間—お買い上げの日より**1年間**です。
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合には、保証書の記載内容によりお買い上げの販売店またはケンウッドの営業所が無料修理いたします。
3. 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはケンウッドの営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料修理いたします。
4. 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後**8年間**です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドの営業所に、ご遠慮なくご相談ください。

サービス依頼について

本機の修理を依頼されるときは、本体のままお渡しにならないで、必ず何かに包装してお渡してください。本体のまま修理にだされますと、途中の事故等で外観に傷がつく恐れがありますのでご注意ください。

※包装材はアフターサービスや引越しの際大切な機器を保護するためにご利用ください。

アフターサービスのお問い合わせは、
購入店または最寄りの当社サービスセンター
営業所をご利用ください。

商品に関するその他のお問い合わせは、
お客様相談室をご利用ください。

電話 (03) 3486-5515

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

東京都渋谷区渋谷1-2-5(アライブ美竹) 〒150

電話 (03) 3486-5511